

かみっこ

合い言葉は「自ら考える」

令和6年2月22日

「教育アンケート」の回答ありがとうございました。要約したご意見・ご要望の内容と、学校での対応等について書かせていただきましたのでご覧ください。（文責：教頭）

【あいさつ】

- 自分からあいさつができる子や元気にあいさつを返してくれる子が多い。
- 横断歩道で車が停まると振りむいてお礼をしてくれる。
- 朝ハイタッチで出迎えてくれるのがいい。ほっこりする。
- 朝あいさつをするが、なかなか返ってこない。
- あいさつが生活の基本になることをこれからも伝え続けていきたい。

→多くの方から挨拶や礼儀については嬉しいコメントをいただきました。全体的には気持ちのよい挨拶ができていますが、挨拶が返ってこなかったり、元気がなかったりするという意見もいただきました。その時の気分左右されたり個人差があったりすることはありますが、挨拶の大切さや意味について考えさせながら、校内だけでなく地域でも発信できる挨拶に引き続き取り組んでいきます。地域・ご家庭でも大人からの何気ない毎日の挨拶や気持ちを伝える声かけを大切にしてください。

【仲間関係】

- 学年や男女など関係なく仲が良い。
- 上級生と関わる機会があって良い。
- 通学班などで自分より下の学年を助けられる子が多い。
- お年寄りへの接し方に慣れていて、道をあげたりなどが自然とできる。

→学校では、縦割りのなかよし班で行う「なかよし掃除」「なかよし遊び」等の活動を行っています。また、通学班での登下校は、他者への思いやりを培い、人間関係を育成していくうえでとても大切なものです。高学年が低学年の子に優しく接する場面や同学年で励まし合いながら活動する姿をよく見かけます。時折、仲間関係のトラブルも発生しますが、その都度指導にあたっています。何かお気づきのことがありましたらお知らせください。

【登下校】

- 下校時、ふざけながら歩いている子やはみ出して歩いている子がいて、たまに怖い思いをする。横に並んでいて危ないこともある。
- 帰宅時、通学班によっては一人になる。通学班の状況をもう一度把握して、一人で帰ることが多い所は何らかの対策があればよいと思う。
- 登下校時の交通マナーが気になる。

→今年度も、心配な姿として一番多くのご意見をいただいたのが、登下校に関わる内容でした。交通事故や連れ去り事件など、直接命に関わることに繋がりますので、その都度指導をすることは勿論、一緒に付き添って歩いたり、危険箇所を立て見守り活動をしたりしています。気になる様子を見かけられましたら、子どもたちに注意を促す声をかけていただくとともに、学校へもご連絡ください。

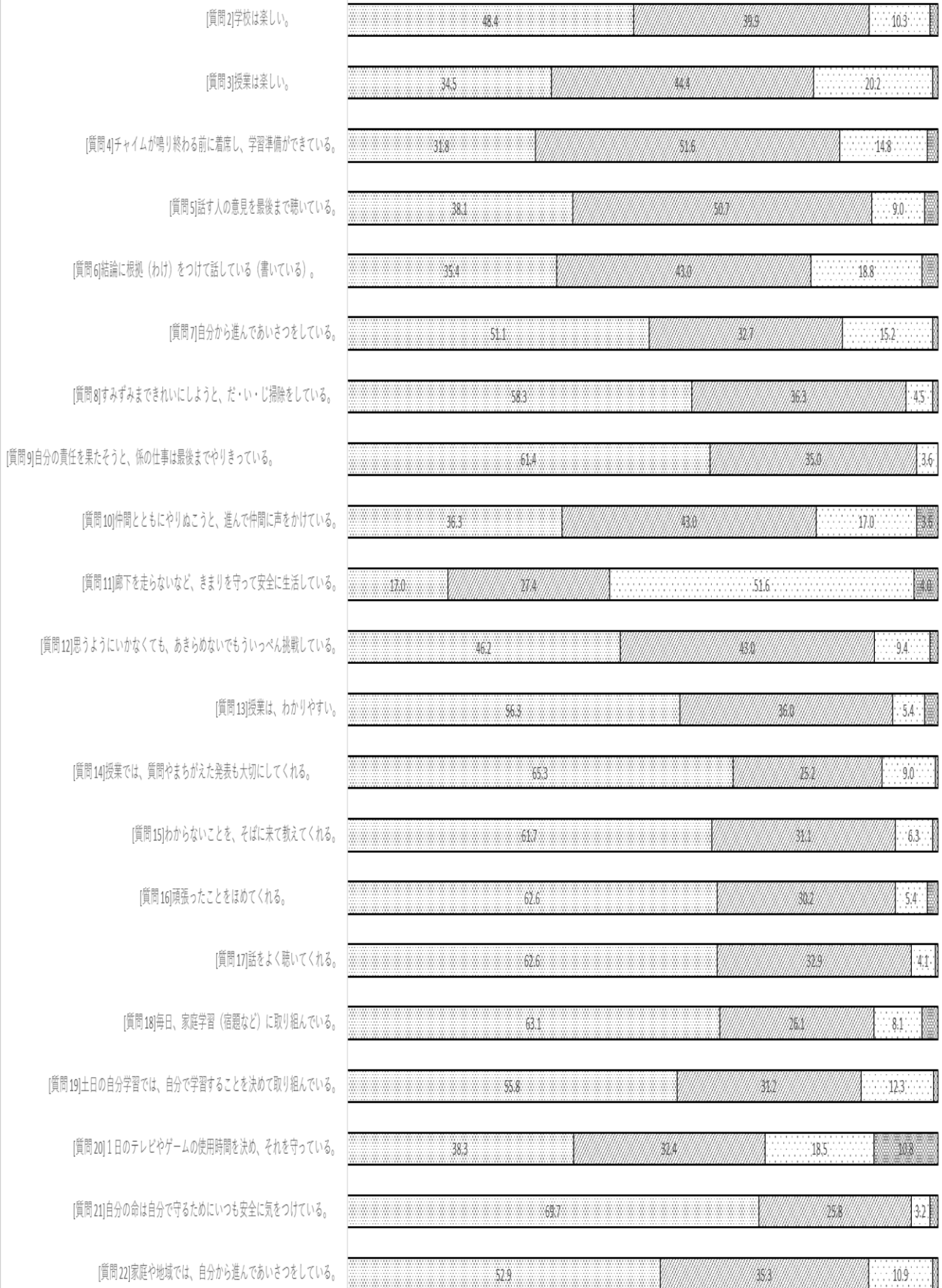
【教職員の指導・対応他】

- 熊騒動の時には、先生方に毎日見守りをしていただきありがたかった。

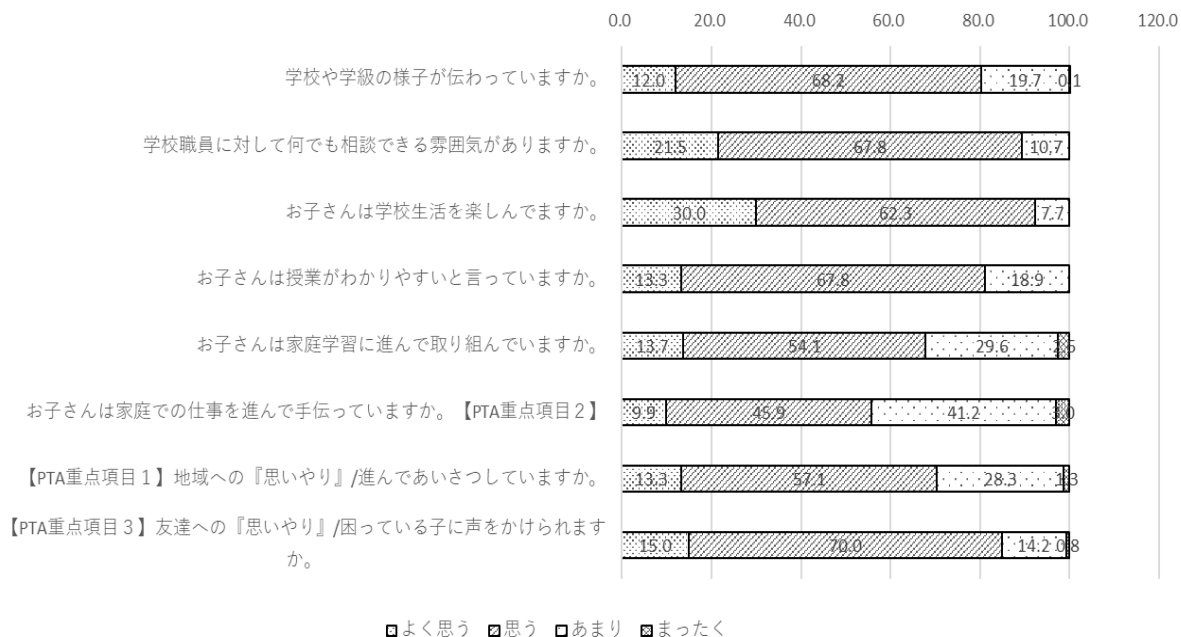
→今年度は、熊出没のために保護者の皆様にも見守りや熊鈴の携行、登下校時の送迎など、ご協力いただきました。

児童アンケート (R5.12月実施)

□よく思う □思う □あまり □まったく



保護者アンケート（R5.12月実施）



6年生を送る会の様子から

